

【地域福祉に関するアンケート】

調査期間 H29.8.16 ~ H29.8.31
回答率 85.9% 回答者数 329人

アンケートの趣旨

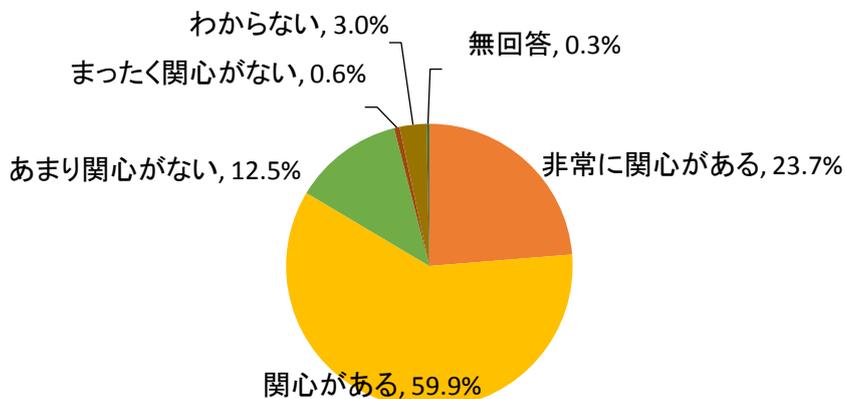
少子高齢化の進展や核家族化、住民意識の変化など、地域における福祉を取り巻く環境が大きく変化中、地域住民がお互いに支え合い、誰もが生きがいを持って、安心・安全に生活を送ることのできる地域福祉社会の実現が望まれています。

そういった中、本県においては、平成25年に、「主体的に参画し、ともに支え合い誰もがその人らしく安心して暮らせる地域社会の実現」を基本目標に、地域福祉支援計画を策定し、積極的に地域福祉の推進に取り組んでまいりましたが、今年度で、計画の期間が満了することから、今年度末を目途に、改定作業を進めることとしています。

この計画を改定するに当たって、県政モニターの皆さんのご意見をお伺いし、今後の計画づくりに反映させるものです。

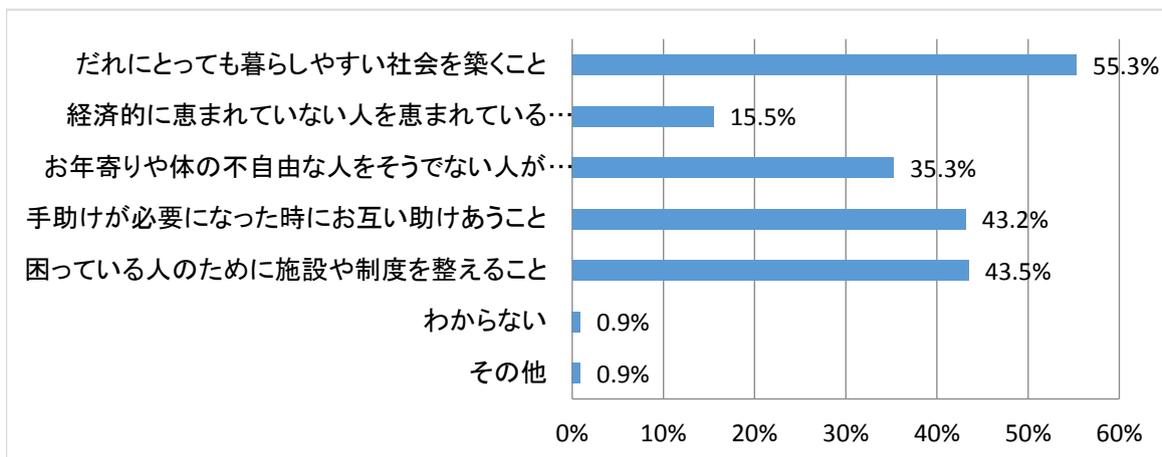
問1 あなたは、社会福祉に関心がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
非常に関心がある	78	23.7%
関心がある	197	59.9%
あまり関心がない	41	12.5%
まったく関心がない	2	0.6%
わからない	10	3.0%
無回答	1	0.3%
計	329	100.0%



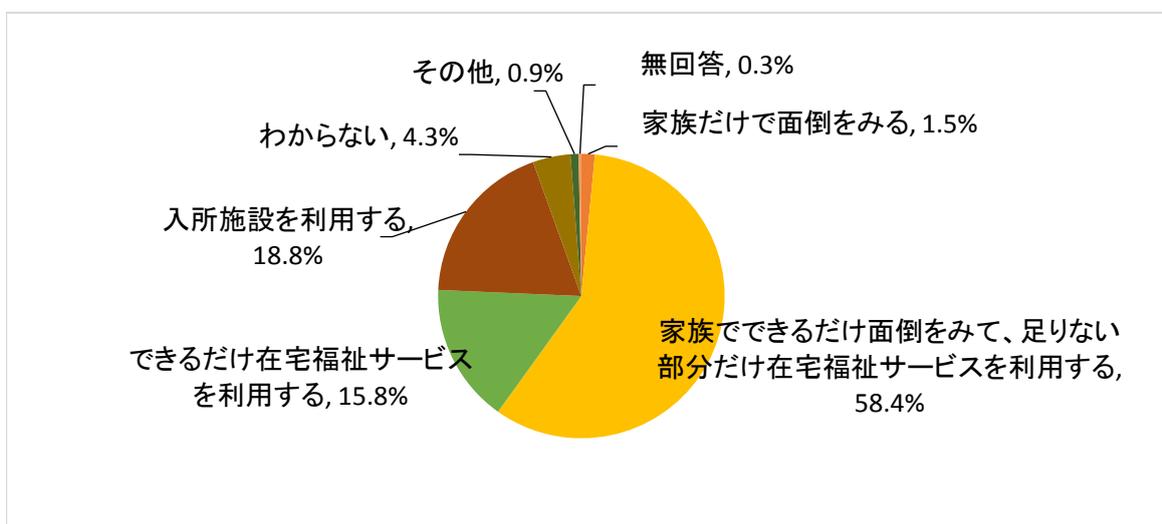
問2 あなたは、社会福祉という言葉からどのようなイメージを受けますか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 329	
	回答者数	構成比
だれにとっても暮らしやすい社会を築くこと	182	55.3%
経済的に恵まれていない人を恵まれている人が援助すること	51	15.5%
お年寄りや体の不自由な人をそうでない人が支えること	116	35.3%
手助けが必要になった時にお互い助けあうこと	142	43.2%
困っている人のために施設や制度を整えること	143	43.5%
わからない	3	0.9%
その他	3	0.9%



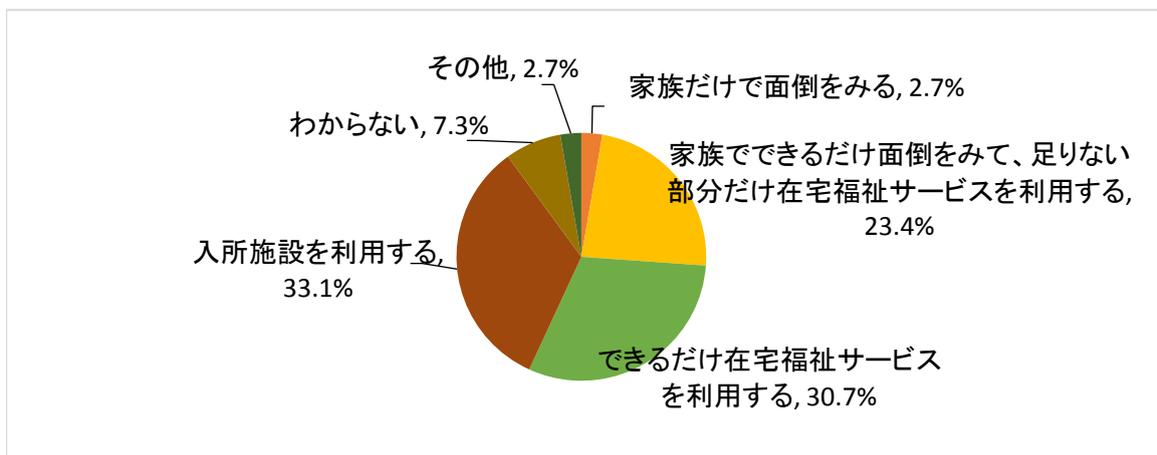
問3 あなたの家族が介護を必要とするようになった場合、あなたはどのようにしたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
家族だけで面倒をみる	5	1.5%
家族でできるだけ面倒をみて、足りない部分だけ在宅福祉サービスを利用する	192	58.4%
できるだけ在宅福祉サービスを利用する	52	15.8%
入所施設を利用する	62	18.8%
わからない	14	4.3%
その他	3	0.9%
無回答	1	0.3%
計	329	100.0%



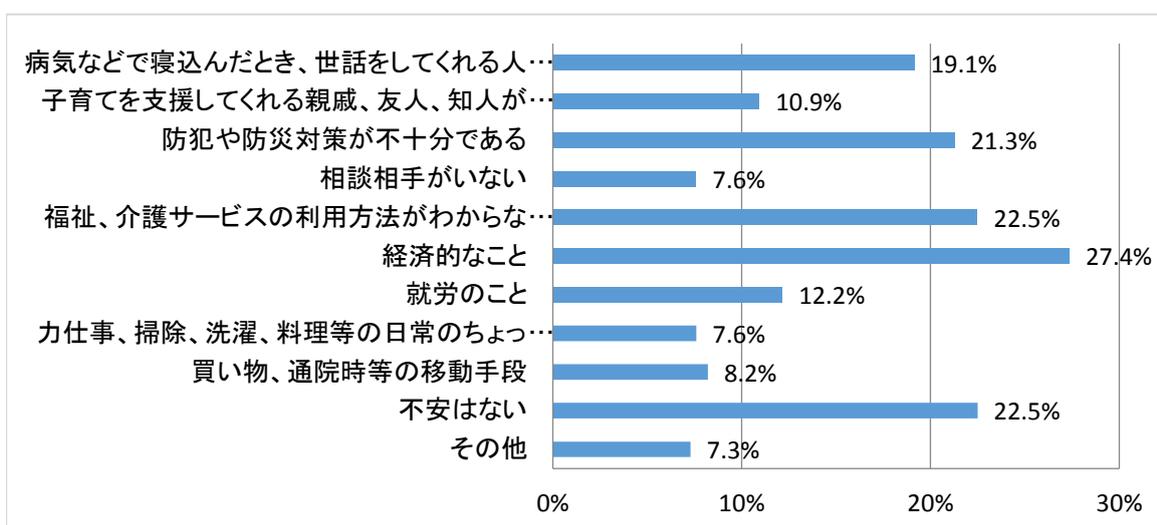
問4 あなた自身が介護を必要とするようになった場合、あなたはどのようにしたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
家族だけで面倒をみる	9	2.7%
家族でできるだけ面倒をみて、足りない部分だけ在宅福祉サービスを利用する	77	23.4%
できるだけ在宅福祉サービスを利用する	101	30.7%
入所施設を利用する	109	33.1%
わからない	24	7.3%
その他	9	2.7%
計	329	99.9%



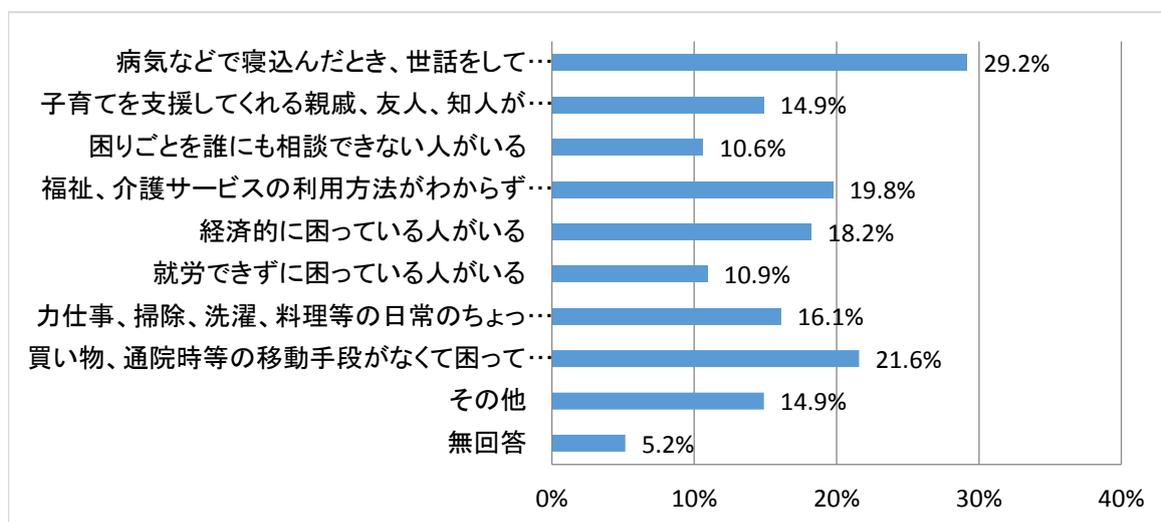
問5 あなた自身が日常生活で困っていること、不安なことは何ですか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
病気などで寝込んだとき、世話をしてくれる人がいない	63	19.1%
子育てを支援してくれる親戚、友人、知人が身近にいない	36	10.9%
防犯や防災対策が不十分である	70	21.3%
相談相手がない	25	7.6%
福祉、介護サービスの利用方法がわからない、利用しづらい	74	22.5%
経済的なこと	90	27.4%
就労のこと	40	12.2%
力仕事、掃除、洗濯、料理等の日常のちょっとした支援が受けられない	25	7.6%
買い物、通院時等の移動手段	27	8.2%
不安はない	74	22.5%
その他	24	7.3%



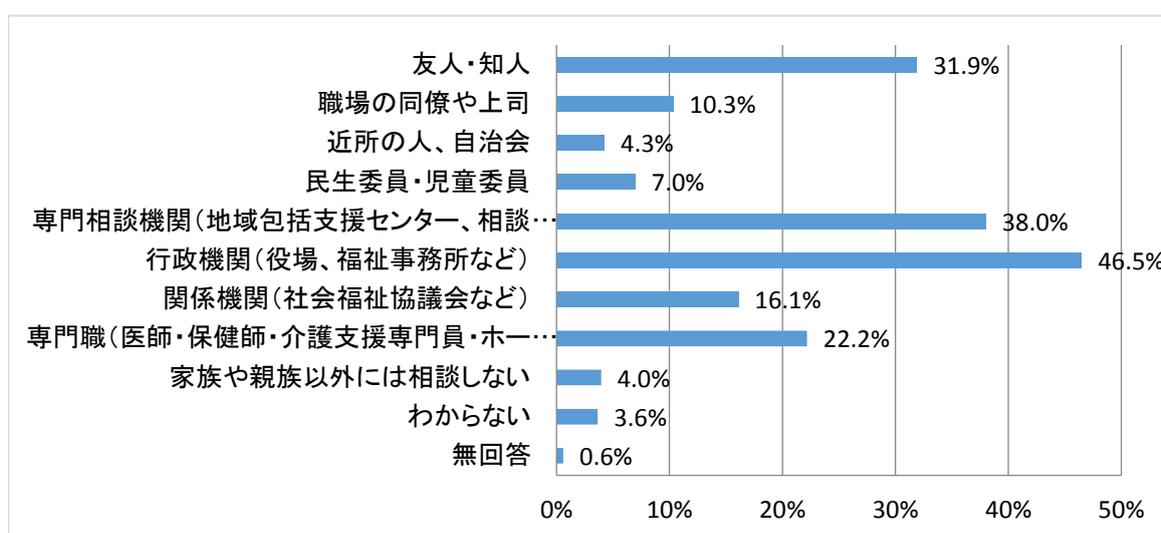
問6 あなたのまわりで、生活上の困りごとを抱えている方はいますか。また、そのような話を聞いたことがありますか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 329	
	回答者数	構成比
病気などで寝込んだとき、世話をしてくれる人がいなくて困っている人がいる	96	29.2%
子育てを支援してくれる親戚、友人、知人が身近におらず困っている人がいる	49	14.9%
困りごとを誰にも相談できない人がいる	35	10.6%
福祉、介護サービスの利用方法がわからず困っている人がいる	65	19.8%
経済的に困っている人がいる	60	18.2%
就労できずに困っている人がいる	36	10.9%
力仕事、掃除、洗濯、料理等の日常のちょっとした支援を必要としている人がいる	53	16.1%
買い物、通院時等の移動手段がなくて困っている人がいる	71	21.6%
その他	49	14.9%
無回答	17	5.2%



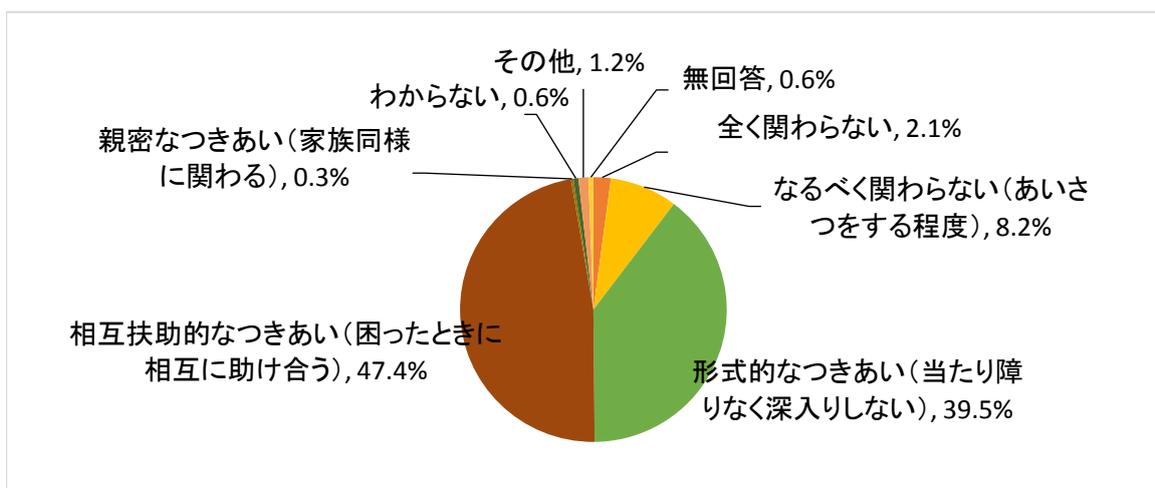
問7 あなたは、福祉に関係する心配ごとや困りごとがあった場合に、家族や親族以外に主にどのようなところに相談しようと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
友人・知人	105	31.9%
職場の同僚や上司	34	10.3%
近所の人、自治会	14	4.3%
民生委員・児童委員	23	7.0%
専門相談機関(地域包括支援センター、相談支援事業所など)	125	38.0%
行政機関(役場、福祉事務所など)	153	46.5%
関係機関(社会福祉協議会など)	53	16.1%
専門職(医師・保健師・介護支援専門員・ホームヘルパーなど)	73	22.2%
家族や親族以外には相談しない	13	4.0%
わからない	12	3.6%
無回答	2	0.6%



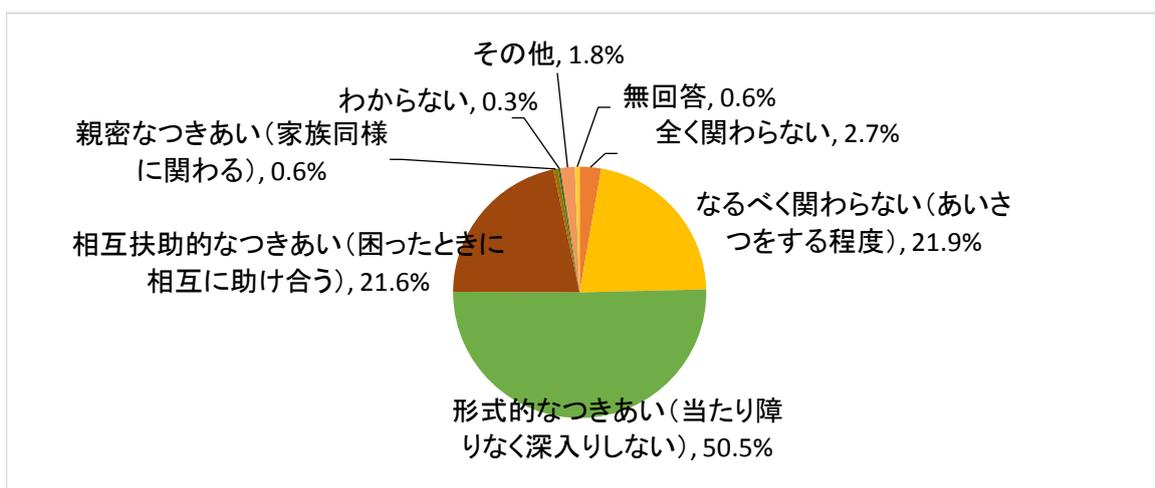
問8 あなたは、近隣の人との関わり方として、どのような形が好ましいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
全く関わらない	7	2.1%
なるべく関わらない(あいさつをする程度)	27	8.2%
形式的なつきあい(当たり障りなく深入りしない)	130	39.5%
相互扶助的なつきあい(困ったときに相互に助け合う)	156	47.4%
親密なつきあい(家族同様に关わる)	1	0.3%
わからない	2	0.6%
その他	4	1.2%
無回答	2	0.6%
計	329	99.9%



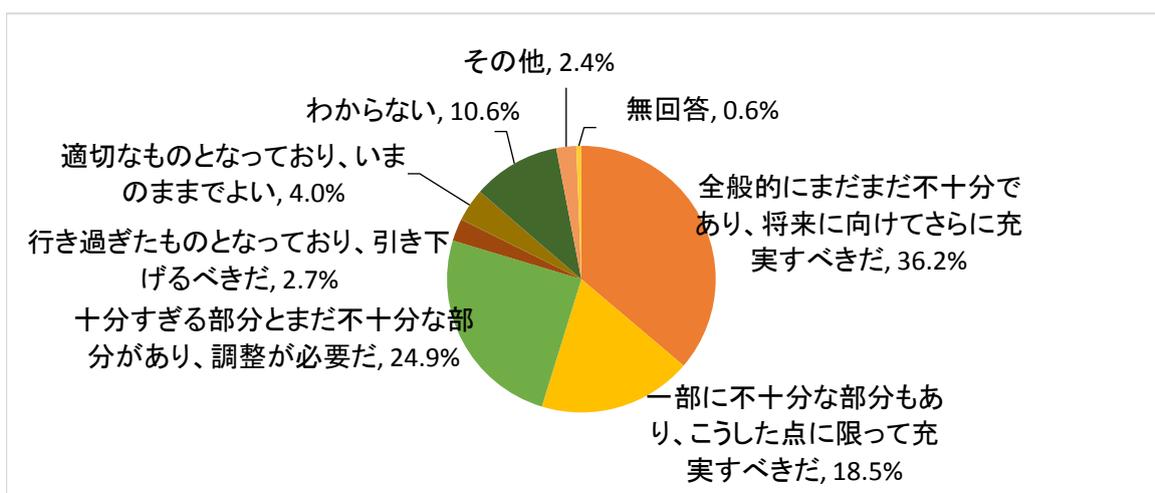
問9 あなたは、近隣の人との関わり方として、実際に関わり方としては、どうなっていますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
全く関わらない	9	2.7%
なるべく関わらない(あいさつをする程度)	72	21.9%
形式的なつきあい(当たり障りなく深入りしない)	166	50.5%
相互扶助的なつきあい(困ったときに相互に助け合う)	71	21.6%
親密なつきあい(家族同様に关わる)	2	0.6%
わからない	1	0.3%
その他	6	1.8%
無回答	2	0.6%
計	329	100.0%



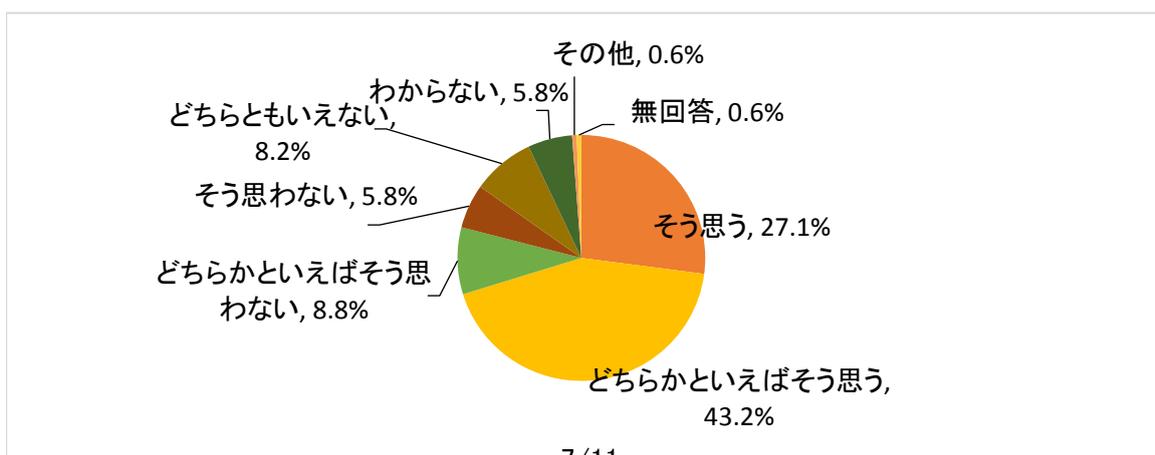
問10 あなたは、現在の高齢者、障害者や保育、生活困窮などに対して行政が行うサービス（公的福祉サービス）の水準についてどのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
全般的にまだまだ不十分であり、将来に向けてさらに充実すべきだ	119	36.2%
一部に不十分な部分もあり、こうした点に限って充実すべきだ	61	18.5%
十分すぎる部分とまだ不十分な部分があり、調整が必要だ	82	24.9%
行き過ぎたものとなっており、引き下げるべきだ	9	2.7%
適切なものとなっており、いまのままでよい	13	4.0%
わからない	35	10.6%
その他	8	2.4%
無回答	2	0.6%
計	329	99.9%



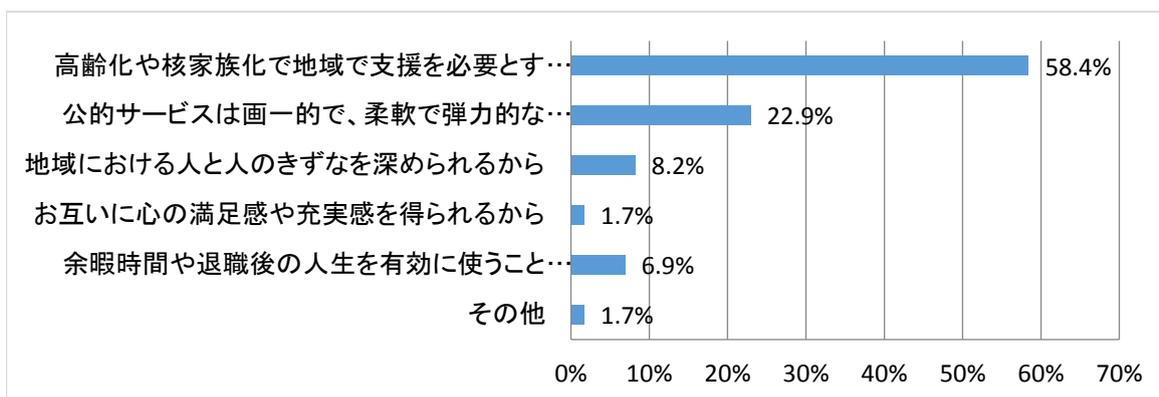
問11 地域における多様な福祉ニーズにきめ細かく対応していくためには、住民参加による福祉活動を推進することが必要であるとの考え方がありますが、あなたは、どう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数	構成比
そう思う	89	27.1%
どちらかといえばそう思う	142	43.2%
どちらかといえばそう思わない	29	8.8%
そう思わない	19	5.8%
どちらともいえない	27	8.2%
わからない	19	5.8%
その他	2	0.6%
無回答	2	0.6%
計	329	100.1%



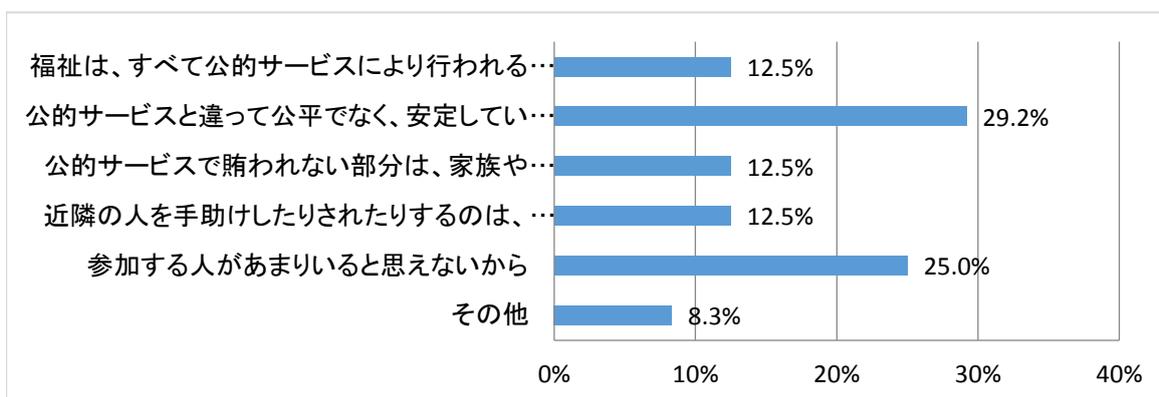
問12（問11で1、2と答えた方にお伺いします）それは、なぜですか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数 231	
	回答者数	構成比
高齢化や核家族化で地域で支援を必要とする人が増えているから	135	58.4%
公的サービスは画一的で、柔軟で弾力的な対応ができないから	53	22.9%
地域における人と人のきずなを深められるから	19	8.2%
お互いに心の満足感や充実感を得られるから	4	1.7%
余暇時間や退職後の人生を有効に使うことができるから	16	6.9%
その他	4	1.7%



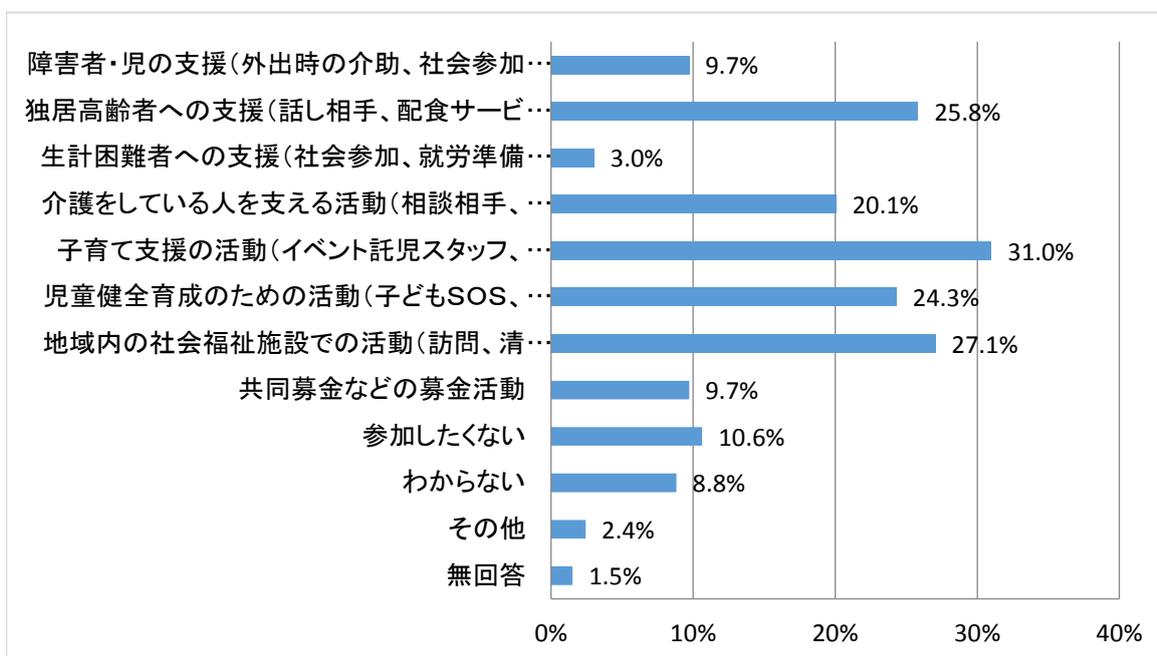
問13（問11で3、4と答えた方にお伺いします）それは、なぜですか。次の中から1つだけ選んでください。

選択肢	回答者数 48	
	回答者数	構成比
福祉は、すべて公的サービスにより行われるべきものだから	6	12.5%
公的サービスと違って公平でなく、安定していないから	14	29.2%
公的サービスで賄われない部分は、家族や親族で対応すべきだから	6	12.5%
近隣の人を手助けしたりされたりするのは、何となくいやだから	6	12.5%
参加する人があまりいると思えないから	12	25.0%
その他	4	8.3%



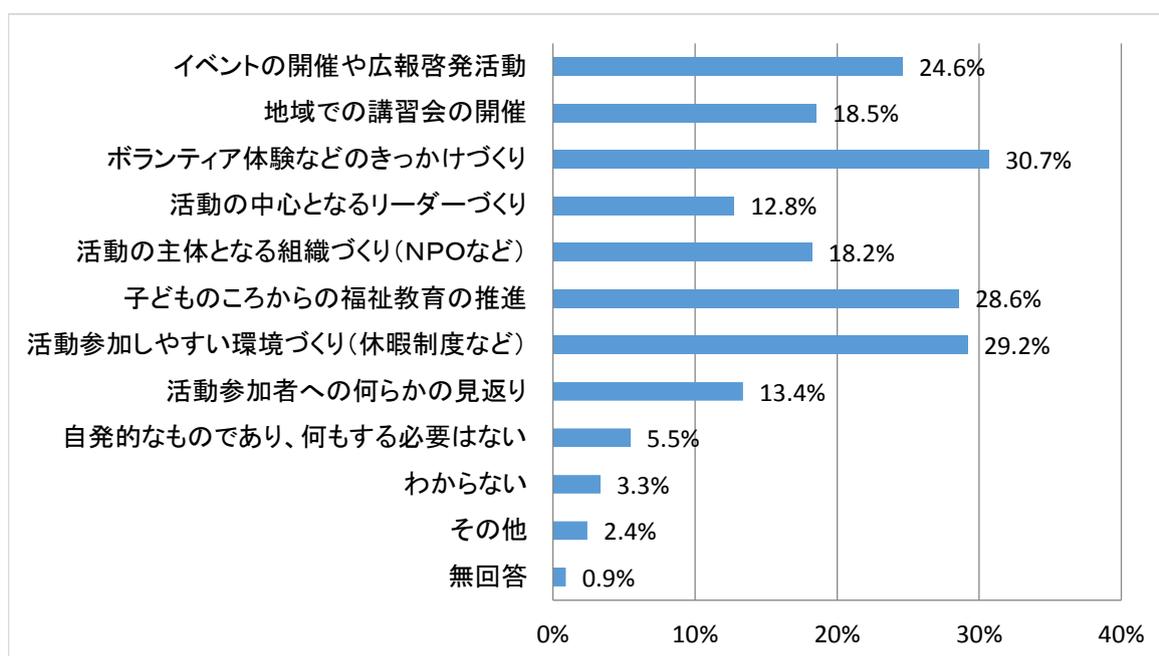
問14 あなたは、お住まいの地域で行われる福祉活動のうち、どのような活動であれば、参加してみたいと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 329	
	回答者数	構成比
障害者・児の支援(外出時の介助、社会参加への支援など)	32	9.7%
独居高齢者への支援(話し相手、配食サービス、外出援助など)	85	25.8%
生計困難者への支援(社会参加、就労準備への支援など)	10	3.0%
介護をしている人を支える活動(相談相手、買い物等の手伝いなど)	66	20.1%
子育て支援の活動(イベント託児スタッフ、児童館での遊び指導、絵本読み聞かせなど)	102	31.0%
児童健全育成のための活動(子どもSOS、パトロールなど)	80	24.3%
地域内の社会福祉施設での活動(訪問、清掃活動、行事の手伝いなど)	89	27.1%
共同募金などの募金活動	32	9.7%
参加したくない	35	10.6%
わからない	29	8.8%
その他	8	2.4%
無回答	5	1.5%



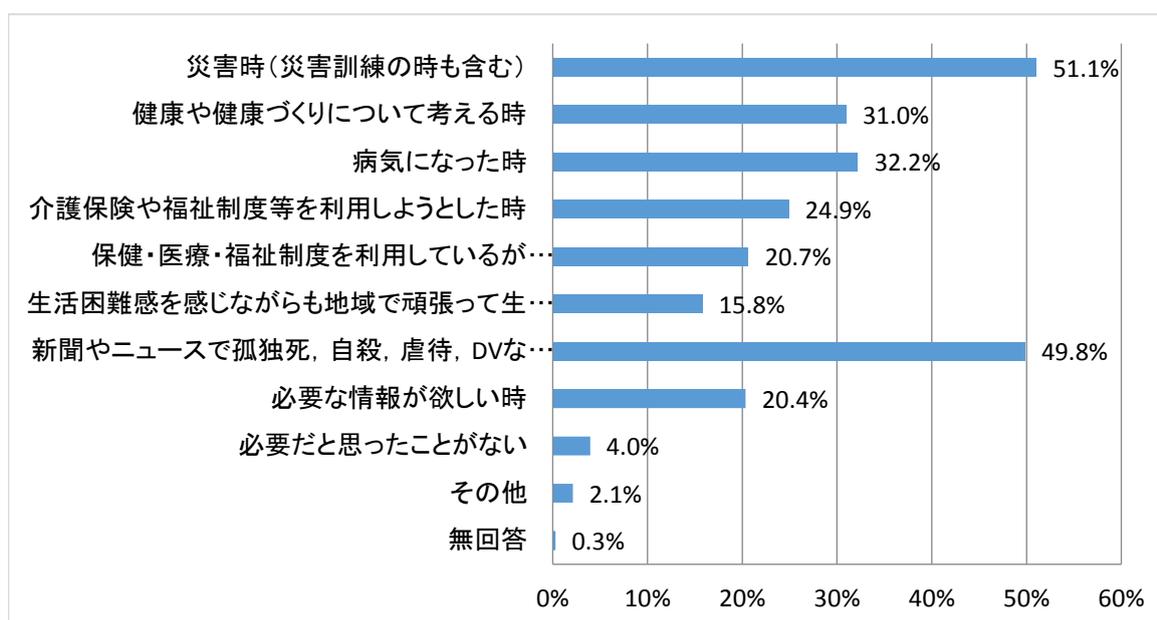
問15 今後、地域での福祉活動を盛んにするためには、どのようなことが効果的だと思いますか。次の中から2つまで選んでください。

選択肢	回答者数 329	
	回答者数	構成比
イベントの開催や広報啓発活動	81	24.6%
地域での講習会の開催	61	18.5%
ボランティア体験などのきっかけづくり	101	30.7%
活動の中心となるリーダーづくり	42	12.8%
活動の主体となる組織づくり(NPOなど)	60	18.2%
子どもたちからの福祉教育の推進	94	28.6%
活動参加しやすい環境づくり(休暇制度など)	96	29.2%
活動参加者への何らかの見返り	44	13.4%
自発的なものであり、何もする必要はない	18	5.5%
わからない	11	3.3%
その他	8	2.4%
無回答	3	0.9%



問16 住みよいまちづくりを推進するため、保健・医療・福祉の連携が必要だといわれています。あなたは、今までに、どのような時にそう思いましたか。該当する項目を3つまで選んでください。

選択肢	回答者数	
	回答者数	構成比
災害時(災害訓練の時も含む)	168	51.1%
健康や健康づくりについて考える時	102	31.0%
病気になった時	106	32.2%
介護保険や福祉制度等を利用しようとした時	82	24.9%
保健・医療・福祉制度を利用しているがそれぞれがバラバラに動いている時	68	20.7%
生活困難感を感じながらも地域で頑張っている方をみた時	52	15.8%
新聞やニュースで孤独死, 自殺, 虐待, DVなどの事件が報道された時	164	49.8%
必要な情報が欲しい時	67	20.4%
必要だと思ったことがない	13	4.0%
その他	7	2.1%
無回答	1	0.3%



※ 表中の構成比は、四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。